



# 秋田県由利本荘市

由利本荘市瓦谷地1番地

本荘保健センター

担当課:健康福祉部健康管理課

〒015-0872

☎0184-22-1834 FAX0184-24-0481

<http://www.city.yurihonjo.lg.jp//>

Eメール:kenko@city.yurihonjo.lg.jp

## 本市のデータ

(1) 面積 1,209.59平方キロメートル

(2) 人口 (人)

22国調	27国調	令元年9月末現在
85,229	79,927	76,420
65歳以上人口比率(27国調)		33.2%

(3) 世帯数

22国調	27国調	令元年9月末現在
28,648	28,349	30,670

(4) 沿革

平成17年3月22日合併

本荘市・矢島町・岩城町・由利町・西目町・鳥海町・東由利町・大内町

(5) 産業構造

区分	就業人口	
	22国調	27国調
1次	4,499人 11%	4,328人 11.1%
2次	13,070人 32.1%	11,879人 30.6%
3次	22,660人 55.6%	22,288人 57.3%
計	40,229人	38,495人



## 本市の概要

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、南に秀麗な山容を誇る鳥海山、西は日本海に囲まれ、鳥海 mountain 裾に源流を発する一級河川「子吉川」の流れとともに広がるまちです。面積は秋田県内一を誇ります。

市内には本市の自然や歴史を語り継ぐ数々の観光スポットがあり、鳥海国定公園を中心として大自然がおりなすパノラマや温泉、季節に応じたアウトドアレジャー、歴史探訪などいたるところに「魅力」があふれています。



## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

合併前の平成6年より、全国に先駆けて旧由利町において保健所や聖マリアンナ医科大学との協働事業を行い、平成15年には自殺予防ボランティア団体「ホットハート由利」が設立され、「高齢者対策」を中心に取り組んでおりました。

平成17年の合併後は「健康由利本荘21計画」に基づき、ボランティア養成、高齢者対策、サロンの開催や啓発活動へ取り組み、現在3団体となったボランティアとの連携により、地域に密着した活動を行ってきました。引き続き平成31年3月に策定された「由利本荘市自殺対策計画」に基づいて生きることの包括的な支援としての自殺対策を推進していきます。

## <具体的な取組み>

### 【基本施策】

#### 1. 地域におけるネットワークの強化

市役所内及び関係機関とのネットワークを強化し計画を推進します。

- ・市役所庁内連絡会開催(1回)
- ・自殺予防対策推進委員会の開催(1回)
- ・自殺予防ボランティア団体、関係機関との連携

#### 2. 自殺対策を支える人材の育成

身近な人の自殺のサインに気づき、声をかけ、必要な支援につなげるゲートキーパーを養成します。

- ・市役所職員を対象としたゲートキーパー養成講座の実施
- ・市民や関係機関職員を対象としたゲートキーパー養成講座の実施

#### 3. 市民への啓発と周知

自殺対策の取り組みや相談先などを広く市民へ周知し理解と関心を高めるための啓発に努めます。

- ・自殺予防街頭キャンペーン(年3回)
- ・こころの健康づくり講座、巡回健康相談の実施
- ・相談窓口の周知
- ・こころの体温計の周知(市ホームページ上でストレス度をセルフチェック)

#### 4. 生きることの促進要因への支援

相談事業や孤立を防ぐ居場所づくりで生きる力を支援します。

- ・地域とつながる交流サロンの開催
- ・臨床心理士による「こころの相談日」の開催(年12回)

#### 5. 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

児童生徒が悩みや問題を抱えた時、「誰に」「どのように」伝え、助けを求めればよいのかを学ぶ教育を推進します。

- ・児童生徒のSOSの出し方に関する教育の実施

### 【重点施策】

#### 1. こども・若者対策

秋田県では10歳代～30歳代前半の死因で一番多いのが自殺です。本市の調査でも20～39歳のストレス度が他の世代より高くなっています。

- ・小中学生こころの健康づくり教室の実施
- ・高校生や若年層へ自殺予防のリーフレットの配布

#### 2. 高齢者対策

本市では60歳代以上の自殺率が高いことから関係機関との連携を図りながら包括的な支援を推進します。

- ・高齢者訪問、健康相談の実施
- ・交流サロンの開催

#### 3. 生活困窮者対策

生活困窮者は複合的な問題を抱えていることも多いことから、必要なサービスにつながるよう連携に努めます。

- ・生活困窮者自立相談支援事業との連携
- ・相談窓口の連携強化

#### 4. 勤務・経営対策

働き盛りの年代へストレスへの適切な対応など、心の健康づくり、相談窓口の周知に努めます。

- ・企業へのゲートキーパー養成講座の実施
- ・メンタルヘルスに関するパンフレットの配布